

大学野球選手のモチベーションに関する一考察

小西 陸 (競技スポーツ学科 コーチングコース)

指導教員 渋谷 俊浩

キーワード：大学野球，モチベーション，競技力向上

1. 緒言

本学の硬式野球部は京滋大学野球連盟に所属しており、近年京滋リーグ3位が最高成績である。練習場の設備も年々良くなり、部員数は現在100人を超える大所帯である。このように、練習施設・チーム内での競争など環境が整ってきている中で、本学硬式野球部の目標である「京滋リーグ優勝」「大学日本一」はまだ達成されていない。このことについて、著者は、現在の硬式野球部部員のモチベーション・練習意欲に問題があると考えた。

そこで、本研究では本学硬式野球部員間のモチベーションの差異の原因を行動的要因・精神的要因・生活的要因の3つの項目に分けて調査分析し、どの要因がモチベーションと最も関連があり、部活動時のモチベーションに影響を与えるのかを明らかにすることで、本学硬式野球部の競技力向上に寄与することを目的とした。

2. 研究方法

本学硬式野球部員を対象にアンケート調査を実施した。調査用紙は2015年11月上旬に100部配布し、翌日71部回収した。回収率は71%であった。

そこから得られた回答内容を、行動的要因・精神的要因・生活的要因の3つの要因に分けて比較・分析し、検討を加えた。

3. 結果と考察

3.1 行動的要因

練習内容や練習時間が本学の野球部の選手にとって大きくモチベーションに影響し、個人

の課題を克服する練習と、チームとしての練習のバランスが重要だと考えた。

実戦的な練習と基礎的な練習のバランスと、個人課題克服時間を設けることで、高いモチベーションの状態での練習が行え、技術の向上にもつながると考えた。

3.2 精神的要因

同級生とのコミュニケーションと、野球部の成績がモチベーションに大きく影響していた。全体的に野球部の成績でモチベーションが下がることが多いため、精神的要因での充実を図るには、行動的要因で挙げたことを克服し、チーム力・個人能力の向上を図ることが重要であると考えられた。

3.3 生活的要因

A・B・Cチーム・学年全て、OFFの日の過ごし方がモチベーションに影響する結果となった。生活的要因で重要なのは、OFFの日と部活のメリハリをつけることであり、本学の野球部の場合は、部活時は部活に集中し、OFFの日は部活のことを忘れて過ごすことで、精神的部分でのリフレッシュができると考えられた。

引用・参考文献

- 飯干 明 (2006) 生活の体育化に関する基礎的研究—身体活動・栄養・休養に着目して—。鹿児島大学教育学部研究紀要，教育科学編，57：pp.75-85.
- 井上 一彦 (2015) 大学野球における状況別打撃結果についての一考察。高等教育推進センター紀要，リベラル・アーツ9号。